

気仙沼市過疎地域持続的発展計画（素案）に対するパブリックコメントでの意見への対応について

計画の体系	意見	意見に対する市の考え方	計画内容（修正後）
<p>3 産業の振興 (15～24ページ)</p>	<p>建設業の記載がないのはなぜでしょうか。建設業に苦慮も問題点もなく産業の振興には必要がないとの認識ですか。</p> <p>次項でも記載がありますが、昨今の気候変動等をもたらす、自然災害における建設業はまさに減災・防災の担い手として、気仙沼市と災害時における防災協定を締結しておりますが、これからの必要性を踏まえて何らかの計画・対策等の記載が必要ではないでしょうか。</p>	<p><b>建設業は、地域のインフラや住宅環境整備はもとより、震災からの復旧・復興や起こりうる自然災害の減災・防災の担い手として、地域社会全体の振興に欠かすことができないと考えています。</b></p> <p>特に、自然災害が頻発する中にある場合は、<b>地域に精通し、迅速な対応ができる地元建設業者への期待と役割は一層増しており、その役割に貢献いただく事業者に対し、公共事業を通じて経営の安定化につながる方策を検討しているところ</b>です。</p> <p>その方策の一つとして、<b>市が発注する公共事業や物品調達において、市内に本社または本店を有する地元事業者への発注に努めるとともに、入札制度において、災害対応等の地域貢献度が評価される仕組みを検討し、早期に導入することで、地元建設業をはじめ地域産業の活性化を図ります。</b></p> <p>また、御意見を踏まえ、<b>(1) 現況と問題点に「地域経済循環」、(2) その対策に「地域経済循環の強化（ローカルファーストの推進）」の項目を追加</b>します。</p> <p>【産業部産業戦略課、総務部財政課】</p>	<p><b>【地域経済循環の強化により建設業など地域産業の振興を図る旨を追記】</b></p> <p>(1) 現況と問題点</p> <p><b>⑤ 地域経済循環</b></p> <p>人口減少が進む地方や地域では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口縮小を加速させる」という負のスパイラルに陥ることが懸念される。</p> <p>地域経済の活性化や雇用の創出を図るためには、域内調達・消費を増やし、域内の資金循環を拡大させる必要がある。</p> <p>(2) その対策</p> <p><b>⑤ 地域経済循環の強化（ローカルファースト）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済循環の流れを客観的にとらえるため、産業関連表の作成等により、分析を進めるとともにデータを可視化し情報共有を図る。</li> <li>・関係団体と連携し、市内事業者の受注機会の増大や市内製造品にかかる原料等の域内調達等に取り組む。</li> <li>・公共工事や物品調達等については、引き続き地元事業者への発注に努める。</li> <li>・特に、公共工事の入札に当たっては、価格に加え、地域貢献度等、価格以外の要素を総合的に評価する落札方式（総合評価落札方式）の導入を進めることにより、地元建設業の振興に寄与し、地域社会全体の持続的発展を図る。</li> </ul>

計画の体系	意見	意見に対する市の考え方	計画内容（修正後）
<p>3 産業の振興 (15～24ページ)</p>	<p><b>「産業の振興」における地元建設業の扱いについて</b></p> <p>持続的発展の基本方針，並びに本計画の基本方針（P9）に基づくことで，<b>産業の振興（P15～）の項にて「建設業」が対象から外れたものと思われ</b>ますが，それでも，現状で市経済全体のなかで生産高，雇用者数の一定の部分を担う地元建設業について，この項にて一言も触れられていないことを大変さびしく感じます。</p> <p>過疎地における地元建設業者には，従来の事業に加えて農林業，水産，観光などの他産業と連携・協業するなどして新たな仕事を生み出し，また，雇用の受け皿として移住定住促進，地域間交流に寄与するなど，これまで以上に能動的で柔軟な事業姿勢が求められてくるものと思います。</p> <p>加えて，災害緊急時対応，道路・河川・急傾斜地維持，除融雪作業など，地域の暮らしのまもり手としての地元建設業の存在は，過疎地だからこそ，今後ますます大事になるものと思われます。</p> <p><b>気仙沼市におかれては，地元建設業にあらためて着目して，市内建設業者を過疎地で有効に活かすような施策を講じていただくように希望</b>いたします。</p>	<p>同 上</p>	<p><b>【同 上】</b></p>

計画の体系	意見	意見に対する市の考え方	計画内容（修正後）
<p>6 生活環境の整備 (33～34ページ)</p>	<p><b>①消防・防災体制の整備</b> 昨今の気象状況の変動により洪水・土砂災害の危険が高まっている事を踏まえて、<b>気仙沼市災害復旧・復興協力会と気仙沼市における災害時における防災協定を締結しているが、先の台風19号時の状況を踏まえ多くの機能不全があったと認識しております。</b> <b>次の災害に備えて検証し、改善・改良する必要がありますかと思っておりますが、このシステム(体制)を計画記載は必要ありませんでしょうか。</b></p>	<p>現在、多くの関係団体と本市は防災協定を締結し災害に備えており、一つ一つの協定は本計画に記載していませんが、<b>災害が発生した場合は、その都度、対応した内容を検証し、改善を図りながら次の災害に備えること</b>としています。 防災協定の機能を十分に発揮するため、<b>関係課や関係機関との連携、情報共有等に努め、円滑な災害対応ができるよう更なる連携の強化を図って</b>いきます。 また、現在見直しを行っている地域防災計画への計画記載については、検討してまいります。 <b>【総務部危機管理課】</b></p>	<p><b>【修正なし】</b></p>
<p>13 その他地域の持続的発展に関し必要な事項 (60ページ)</p>	<p><b>海洋(プラスチック・漁具等)の海ゴミ回収ステーションの設置等を検討中と記載されております。一番大事な問題は出口に尽きると思っております。</b> 気仙沼市として(下水道汚泥・上水道汚泥等)の契約の様に一番現実的(サーマルリサイクル)太平洋セメント東北支店様と契約するかしないかがすべてと思っております。その他回収・運搬・システムは概ね描かれていると思っておりますので、<b>もう一步踏み込んだ内容にて記載できませんか。</b></p>	<p>現在、<b>漁業者により回収された漂流・漂着ごみを収集する海ゴミ回収ステーションを本市の一部地域において試験運用</b>しています。 また、<b>使用済み漁具等の処理</b>については、現在、<b>関係各所でリサイクル製品の開発に向けた協議が行われているところ</b>です。 いただいた御意見を含め、引き続き、<b>海洋プラスチックの資源循環型利用に向けて検討を進めて</b>まいります。 <b>【産業部水産課】</b></p>	<p><b>【修正なし】</b></p>